

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



おめでとう

第55回ゴーセン争奪杯ハイスクールジャパンカップソフトテニス2026 全国大会出場

#060 Nishikido Kokoro

西木戸 心 さん

旭川明成高校2年生



※掲載情報は4月20日現在です。

6月25日から4日間、札幌市で開かれる「第55回ゴーセン争奪杯 ハイスクールジャパンカップソフトテニス2026 全国大会」に、旭川明成高校2年生の西木戸心さんが女子シングルス・ダブルスの部に出場します。本大会は50年以上の歴史をもつ、いわば「ソフトテニスの甲子園」。西木戸さんは、4月3日から4日に帯広市で開かれた北海道予選大会でシングルスの部優勝、ダブルスの部で準優勝し、全国大会への切符を獲得しました。

「大会前に練習量が増え、大変だったけど、いい結果を残せてよかった。」と振り返る西木戸さん。予選の一番での勝因を尋ねると「楽しんでプレーすることができたこと」と話されました。プレッシャーのかかる場面でも、仲間の熱い応援で緊張がほぐれ、自分の力を出しきれたそうです。プレーの強みはスライスイヤディフェンスの技術で、外部コーチや顧問の先生に積極的に質問をしながら日々技術を磨き上げてきました。ソフトテニス始めたのは、小学1年生のときからで、今年で11年目となります。辞めたいと思うことも多々あったものの、仲間との絆や周囲のサポート、そして積み重ねた結果が自信となり、西木戸さんをコートに立ち続けさせてきました。全国の舞台では「練習してきたことを全部出し切り、うまい選手のプレーを一つでも多く吸収して帰りたい」と力強く話されました。



PIPPU LOVERS

比布駐在所 所長

vol.24

田村 直人 さん



4月1日付けの定期異動で、田村直人所長が比布駐在所に着任しました。田村所長は旭川市出身の33歳。学生時代は野球部に所属し、スポーツに打ち込んだ経験から、身体を動かす仕事で人の役に立ちたいという思いや、社会の裏側を知りたいという好奇心から警察官を志したそうです。前任は札幌市の白石警察署留置管理課で、駐在所勤務は6年ぶりとなります。学生時代にスキーで訪れていた比布町に赴任し、巡回活動を通じて「本当に温かい人が多い」と好印象の様子。「駐在所は住民の皆さんの協力があつてこそ成り立ちます。歴代の駐在員が築いてきた信頼関係を大切に引き継いでいきたい」また、「町のことはまだ勉強中なので、私からも積極的に声をかけます。ぜひ気軽に話しかけてください、比布のことを教えてください」と笑顔で話されました。